

津南町長選挙

選挙公報

津南町選挙管理委員会

住みやすい町を作ります

町民の皆様の安全と安心を第一に暮らしやすい魅力ある津南町を目指してまいります。力を合わせ確かな町づくり一緒に始めましょう。

基本姿勢

- 町民の声に耳を傾け、力を合わせ地域の願いを実現します
- 行政対応は迅速な現場主義を徹底します
- 町政の課題に誠実に向き合い果敢に挑戦します

3つの方針

- 若者や子育て世代の町政参画を進めず
- 地域資源を活かした魅力ある町づくりと発信に全力
- 新しい事にチャレンジする文化をつくる

☆人づくり 未来は人づくりから

- 未来を担う子供たちに、町民みんなで考える保育環境を
- 健康寿命延伸につながる取り組みと、いつでも、どこでも、だれでも学べる環境を整えます

☆安全安心な暮らし

どこよりも思いやりのある町を目指します

- 津南病院の空病棟を介護施設に転換
- 津南病院の経営改善に努め維持します
- 高齢者への新たな除雪体制の構築、それまでは除雪券の増額と除雪範囲の拡充を行います
- 住民負担の少ないゴミ処理を進めます

☆産業振興

人口減少に打撃つ元気の町を目指します

- 公共事業の積極的な導入
- 観光の専門人材の登用
- 負担金の極力かからない圃場整備の推進



おのづか均

たたきあげ・実直・堅実

津南町はもっと、もっと元気になるります

皆さん、あなたの思いを込めた1票で、

首都直下型地震の発生確率は、相当高まっています。『こんなことが出来るぞお劇場』『私は考える』でも述べましたが、首都圏脱出は時代の要請で、すでに人の動きは始まり、「子育ては自然豊かな町で」など、子育て世代は「ある種の危機感」を持って動き始めています。それは災害回避というより、「新たなライフスタイルを求めて」です。その動きの先の選択の一つに「津南町」を選んでもらいたいです。どうすれば、選んで頂けるか。それは容易です。「人がいる」ことです。その人とは行政のトップです。それは『私は考える』を実現すれば、必ずや津南町は「住民も、来訪者も、移住者も、皆が主人公になれる町」だからです。その主人公の思いや意識がちよっと変わるだけで、津南町は元気になるでしょう。その仕掛けづくりに、私を使ってください。



藤木まさき

人口8,980人(5月末)、そのトップを選ぶのが今回の町長選です。「企業は人なり」、そう考える場が投票所で、その1票が町を変え、人を元気にする源です。

6月1日から毎日皆さんにお届けした『私は考える』は、私の公約です。真冬、津南町を上空1万尺から鳥になって見ると、この一部エリアだけ白く見えます。そうです、雪です。この新潟と長野県境の半径30km余りが白く見えます。「豪雪地・雪国圏」です。東京方面に目を向けると、すぐそこに首都圏があります。こんなに近いのか、改めて感じる距離感です。

投票日は6月19日(日)です。

投票時間 午前7時～午後6時

ただし次の投票所は午前7時から午後5時です

投票区	投票所	区域
第12投票区	克雪管理センター	結東、逆巻、前倉、見倉清水川原
第13投票区	大赤沢民芸館	大赤沢



誰もが安心できる医療・介護体制

- 老朽化する津南病院の継続に向け抜本的対応
- 総合的に診察できる常勤医の確保
- 高齢者視点に立った通院手段の改善
- 在宅医療の拡充による切れ目のない支援

基幹産業である農業の推進

- 農業者や農業法人の経営支援
- ほ場整備の着実な実施
- 米・園芸・畜産の連携による循環型農業の拡大
- 負担の軽減に向けた通信環境設備の推進

町全体での子育て支援

- 将来を見据えた保育環境整備の推進
- 雨や雪の日でも楽しめる屋内の遊び場の整備
- 保育園の副食費の1人目無償化
- 自然環境や文化を生かした学びの充実
- 町内在住高校生への通学費支援を創設

地域経済・商工業の活性化

- 県内専門学校や大学へのトップセールスによる人材確保支援
- 企業誘致や創業支援による雇用の確保
- 津南ファン拡大に向けた観光と農林業の連携加速
- ニュー・グリーンピア津南の再生

暮らしを守る環境づくり

- 災害発生時の情報発信力の強化
- 町道の安全性確保に向けた修繕強化
- 老朽化した橋梁の着実な架替え
- 空き家対策の積極的推進

町民とともに歩む町政へ

- 町民の皆さまとの対話会を毎年、複数会場で開催
- 消費拡大キャンペーンをはじめとする独自のコロナ施策の迅速な実行
- 行政手続きのオンライン化の推進

4年間の主な実績

- ✓ 町財政の健全化(基金7.5億円増加)
- ✓ 津南病院の経営健全化(1.8億円の収支改善)
- ✓ 新型コロナウイルス感染症対策と経済支援
- ✓ 信濃川河川改修の早期着工を実現
- ✓ 豪雪支援金の支給、除雪や消雪剤への補助
- ✓ 除雪ドーザー・ロータリ除雪車の整備
- ✓ 障がい者グループホームの整備補助
- ✓ 農業の担い手づくりの推進(新規就農者・法人等の増加)
- ✓ トップセールスによる農産品の発信
- ✓ ふるさと納税の増加(1.2億円増加)
- ✓ 保育園・小中学校へのエアコン整備
- ✓ 産婦健康診査の2回分を公費負担
- ✓ 子どもの入院診療費の無償化
- ✓ 津南未来会議・町長と語る会の実施

詳しくはホームページをご覧ください 桑原はるか 検索、www.kuwabara-haruka.jp



桑原くわばら はるか

プロフィール 昭和61年津南町生まれ。2児の母。津南小・津南中・国際情報高・早稲田大学卒業。東京大学公共政策大学院修了。津南町議2期を経て、2018年から津南町長。

ともに歩もう この先の津南へ